



書館便り



12月号

発明の舞台裏

今月は様々な発明品や、開発に携わった人物に関する本を紹介します。身近な道具や乗り物がどうやって発明されたのかを知ると、これまで以上に愛着がわくのではないかでしょうか。



●『日本人なら知っておきたい！モノのはじまりえほん』

荒俣宏／監修 ふわこういちろう／イラスト 日本図書センター（分類：031）
テレビなどでおなじみのアラマタ先生が、「モノのはじまり」を教えてくれます。シャーペン、ラジオ、テレビ、電卓…つぎつぎに生まれた「日本初」は、すべて早川徳次が発明した！など、身近なモノの誕生と歴史を、ユーモラスなイラストと「はじめて年表」で楽しく知ることができます。

●『暗やみの中のきらめき 点字をつくったルイ・ブライユ』

マイヤリーサ・ディークマン／著 古市真由美／訳
森川百合香／絵 汐文社（分類：289）
現代の少年レオの視点で、ルイ・ブライユの生涯と功績をたどります。ブライユが6個の点を組み合わせた点字を考案したのは、パリの王立盲学校に通っていた10代前半の頃のことでした。



マークの本は図書館にあります。

令和2年12月発行 株式会社リブネット編集

●『ヤモリの指から不思議なテープ 自然に学んだすごい！技術』

石田秀輝／監修 松田素子・江口絵里／文 西澤真樹子／絵 アリス館（分類：504）

天井にくっつくことのできるヤモリの足の裏の構造をヒントにしたカーボンナノチューブのテープや、蚊の針をヒントにした刺しても痛くない注射針などが紹介されています。生物の体の仕組みが、画期的なアイデアと高い技術で思いもよらない分野に応用されていてびっくりします。



●『ダ・ヴィンチ 時代を先取りした左手 天才！？科学者シリーズ8』

ルカ・ノヴェッリ／文・絵 滝川洋二／日本語版監修 関口英子／訳 岩崎書店（分類：702）

レオナルド・ダ・ヴィンチは、画家だけでなく建築家・技術者・研究者としても大きな功績を残しました。でも、彼の先進的なアイデアは、当時周囲の人には理解してもらえないこともありました。研究のために死体を解剖していたら、恐ろしい魔術師だと訴えられたこともあったそうです。



おしらせ

12月の図書館

●冬休み前の 特別貸出

【貸出日】

12月1日～12月25日

【貸出冊数】

ひとり10冊まで

【返却期限日】

1月9日（土）

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
		★	★	★	★	★
6	7	8	9	10	11	12
	★	★	★	★	★	
13	14	15	16	17	18	19
	★	★	★	★	★	★
20	21	22	23	24	25	26
	★	★	★	★	★	
27	28	29	30	31		



★の日に図書館スタッフが来ています。